



県優良少年少女団体に山口子ども会 ～平成22年度鹿児島県優良少年少女団体表彰

■南薩地区子ども会大会が9月5日、南九州市知覧で開催され、山口子ども会が平成22年度鹿児島県優良少年少女団体の表彰を受けました。

山口子ども会は、常時活動として公民館放送を利用した毎日の朝読み活動を実施しています。また、集落に残る郷土芸能『棒踊り』を小・中学生が伝承しており、地域の活性化に大きく貢献しています。さらに、市や地区の子ども会大会において、自分たちの日頃の活動・実践について発表するなど、他の子ども会の模範となっています。



鹿児島水産高校の生徒が オニヒトデ駆除実習

■鹿児島水産高校の生徒によるオニヒトデ駆除実習が10月18日、板敷・白沢海岸の沖合で行われ、11名の生徒が同校の実習船『拓青』に乗船し水深5～10mのポイントで潜水しました。オニヒトデは全身が有毒なトグに覆われた危険な生き物です。当日は、枕崎の海を守る会の協力もあり、計532匹、253.9kgのオニヒトデを駆除することができました。

潜水を行った茶園将也くん(3年)は「サンゴを捕食するオニヒトデの影響と思われるサンゴの白化現象が見られた。サンゴは魚の産卵や育成に大事な場所。大切にしていかなければ」と話してくれました。

駐車時は出船駐車を心がけよう ～出船駐車ポスターコンクール

■秋の交通安全週間にあわせ、枕崎警察署と枕崎地区安全運転管理協議会の主催で交通事故防止を目的とした出船駐車ポスターコンクールが行われました。出船駐車とは、車を駐車する際、車の前方を発進する方向に向けて駐車する方法で、これにより駐車場等での事故減少が期待されます。

コンクールの表彰式が9月30日、立神小学校と枕崎中学校で行われました。小学校の部で最優秀賞を受賞した園田千尋くんは「ポスターを見て出船駐車を心がけてもらえたらうれしい」と話してくれました。



立神小学校
◎最優秀賞
園田千尋くん(6年)

右は立石健蔵会長(枕崎地区安全運転管理協議会)



枕崎中学校
◎最優秀賞
◎朝弘美南さん(3年)
◎優秀賞
◎中原優奈さん(3年)

左端は城戸雅俊署長(枕崎警察署)、右端は江野誠一校長

100歳おめでとうございます ～城森喜代二さん(恵比須町)

■城森喜代二さんが10月15日、めでたく100歳を迎えられ、市と市社会福祉協議会から祝い金が贈られました。

城森さんは、50歳頃まで鯉一本釣りの漁師として鯉船に乗っていました。鯉船を下りてからも、所有している船外機付きのボートを操縦して立神岩周辺へ行き、自作のエギでイカをたくさん釣っていたそうです。これからもお元気で長生きしてください。

※写真は卒寿祝い(90歳のお祝い)で妻の故・嘉代さん、ひ孫の柳田尚子さんと撮影したものを家族の方にお借りしました。



綱引き競争
優勝は本場公民館



スナップ 第42回 市民運動会

■さわやかな秋晴れのもと、第42回市民運動会が10月17日、市総合グラウンドで開催されました。34公民館から4850人が参加し、徒競走やスプリンリレー、マーチングバンドなど、さまざまなプログラムで楽しみなさわやかな汗を流しました。



▲中釜博郎さん(亀沢公民館)による選手宣誓



収穫した米を味わい 自然に感謝する ～金山小学校で食育体験活動

■金山小学校の児童が緑の少年団の活動で4月に田植えをし、8月に収穫した米を使った食育体験活動が10月15日、JA南さつまから6名の講師を迎え、同小学校で行われました。参加した5・6年生の13人は、炊飯やみそ汁作りなどとおして豊かな自然によって育まれる命のすばらしさ、愛おしさを学びました。

参加した黒瀬未羽さん(金山小6年)は「自分たちが収穫した米はおいしかった。JAの方々に米の炊き方など分かりやすく教えてもらえた。習ったことを生かし、家族のために料理を作りたいです」と話してくれました。



大きなサツマイモ いっぱいとれたよ ～立神保育園の園児らが いも掘り体験

■立神保育園のいも掘り体験が10月23日、中央町の畑であり、園児と児童クラブの子どもたち合わせて約120人が参加しました。園児らは、一緒に参加した親や祖父母からアドバイスをもらいながらツルの周りの土を一生懸命掘りおこし、大きなさつまいもを次々に収穫していました。

このサツマイモは、園児らが5月に種植えしたものです。この体験とおして農産物が大きくなるまでの過程を学ぶとともに、焼き芋などにしておいしくいただき、本市特産品の一つであるさつまいもについての理解を深めていました。